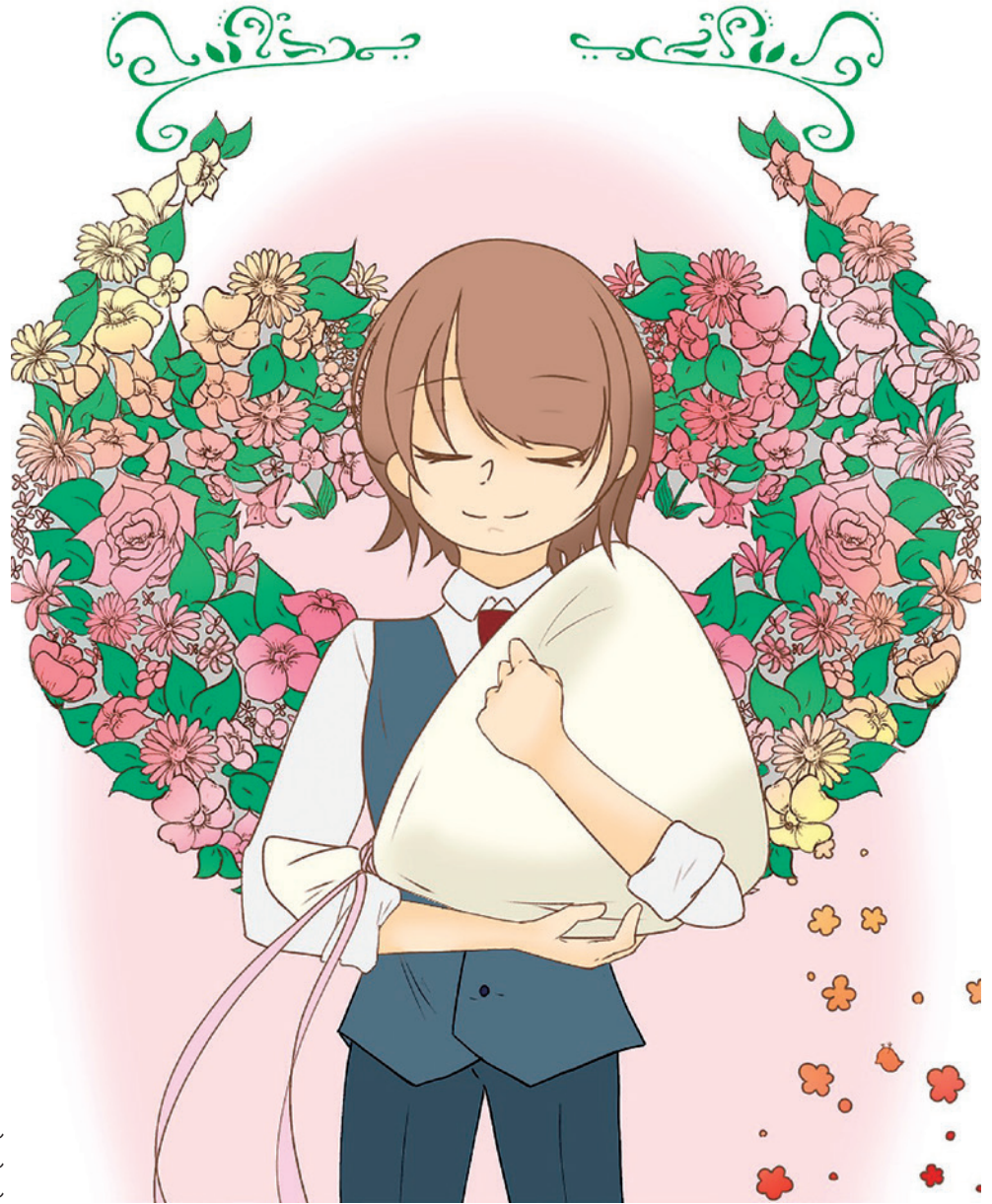


市議会だより



「花の街とよあけ」
イラスト 杉江のどか さん
板倉 成希 さん
峠 歩美 さん

令和3年10月緊急議会、12月定例会議会

あんない

12月定例会議会	P2~P3
討論(議案等に対する意見)	P4~P7
10月緊急議会	P7
一般質問(個人18名)	P8~P14
豊ヶ岡学園交流会	P15
議員政治倫理審査会	P15
議会報告会	P16~P17
議会の活動状況	P18

表紙写真・絵画募集中!

次回の締切は3月4日(金)です。

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)

12月定例月議会

12月定例月議会は、令和3年11月30日から12月22日までの23日間にわたり開催し、議案20件、決議案1件、陳情2件などを審議しました。

人事案件

◎人権擁護委員候補者の推薦について
（敬称略）

任期満了（3月31日）に伴い、次の方を再び推薦することに決定しました。

（任期は3年）
青木 廣 康
（前後町）

陳情

◎議会が近藤郁子議員に誠実な対応を促すよう求める陳情

令和3年12月22日
趣旨採択

◎墓地公園管理事務所併設に伴う陶芸の館改修に関する陳情

令和3年12月22日
趣旨採択

決議

12月定例月議会最終日の12月22日に決議案1件について審議し、可決しました。

◎近藤郁子議員に反省を求め決議

令和3年4月26日、豊明市議会議員政治倫理条例に基づき、近藤郁子議員の金銭貸借にかかる対応は議員としての品位を損なうとともに、市民全体の奉仕者として信頼に欠ける行為であり、政治倫理に反する疑いがあるとする審査請求書が、市民173名の連署をもって議長に提出された。その請求内容は個人のプライバシーに深く立ち入る内容であったことから、去る11月18日に開催

された豊明市議会議員政治倫理審査会において、審査に適さないこととなった。

しかしながら、今回の審査請求に至る近藤郁子議員の一連の対応や行為が、疑義の解消に向けた説明責任を果たしたとは言いがたく、市民の皆様に疑念を抱かせる一因となったことは明白である。

また、これだけ多数の署名が集まり、審査請求書が提出されたことに関しては、重く受け止め深く反省すべきである。

豊明市議会議員政治倫理条例は、議員の責務として「議員は、市民全体の奉仕者としての責任を自覚し、議員としての資質及び政治倫理の向上に努めるとともに、この条例を遵守しなければならない」と規定し、市政に対する市民の負託に 대응することを目的とした行動規範となっている。

よって、豊明市議会は、

近藤郁子議員に対し深く反省を求めるとし、併せて、議員一人一人が市民全体の奉仕者としての責任を自覚し、議員としての資質及び政治倫理の向上に全力を尽くすものとする。



12月定例月議会議案等の審議結果

議案等の賛否

○：賛成 ×：反対 趣：趣旨採択 除：除斥

議案等番号	会 派 名 議 員 名 件 名	清和					市民派 の 会			未来 ク ラ ブ		真明			公明党		議 長				
		服部 龍一	青木 亮	鶴飼 貞雄	近藤 ひろひで	毛受 明宏	月岡 修一	中村 めぐみ	林 ゆきひろ	ごとう 学	清水 義昭	宮本 英彦	近藤 善人	堀内 ちほ	いとう ひろし	三浦 桂司					近藤 千鶴
議案69	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案70	工事請負契約の変更（国庫補助事業（仮称）多世代交流館整備工事）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案71	令和3年度豊明市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案72	豊明市共生交流プラザの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案73	市道の路線廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案74	市道の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案75	豊明市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案76	豊明市立公民館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案77	豊明市立保育所設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案78	豊明市児童館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案79	豊明市国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案80	豊明市墓園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案81	豊明市土砂等の採取及び埋立て等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案82	豊明市企業立地促進条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案83	令和3年度豊明市一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案84	令和3年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案85	令和3年度豊明市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案86	令和3年度豊明市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案87	令和3年度豊明市下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案88	令和3年度豊明市一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告10	専決処分事項の報告（損害賠償の額の専決処分）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
決議案2	近藤郁子議員に反省を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 2	議会が近藤郁子議員に誠実な対応を促すよう求める陳情	趣	趣	趣	趣	趣	趣	×	×	×	×	×	×	趣	趣	趣	趣	○	×	×	除
陳情 3	墓地公園管理事務所併設に伴う陶芸の館改修に関する陳情	趣	趣	趣	趣	趣	趣	×	×	×	趣	×	×	趣	趣	趣	趣	○	×	×	趣

※ 陳情2～3は趣旨採択について採決した結果であり、×の議員は採択又は不採択の意思表示はしていません。

論

12月定例月議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。
(文責は各会派にあります。)

◆清和◆

令和3年度豊明市一般会計補正予算第10号と第11号に賛成

小中学校屋内運動場手すり設置工事、館保育園他4園の階段等転落防止柵設置工事は、学校・保育園の転落等の事故防止のための措置で、早急に着手し安全管理に努めていただきたい。

新型コロナウイルスは県内も感染者数が落ち着きを見せる中、全世界へオミクロン株の感染が拡大する懸念がある。3回目のワクチン接種は、接種の間隔を医療従事者や高齢者施設の入所者は原則8カ月から6カ月に、一般の高齢者は7カ月前倒しがされ、ワクチンの「交互接種」が行われるなど、市民は不安に感じている。HP等で丁寧に安全性や有効性などの周知をお願いする。

児童生徒用デジタルドリルや来年度から始まる小学校35人学級のための消耗品や備品購入は、教育環境の整備に必要と考える。

債務負担行為では、来年度オープンする共生交流プラザの指定管理者の指定は、市民交流の輪が広がるサービス運営に期待。循環バス運行負担事業は市民が気持ちよく利用できるひまわりバスの継続運行をお願いする。子育て世帯への臨時特別給付金は、コロナで経済的な影響を受けた世帯へ12月17日に1回目として現金5万円の給付、今回の議案では2回目の現金給付を行う予算付けで、対象者に漏れなく周知徹底し迅速に支給を願う。

◆市民派の会◆

共生交流プラザの指定管理の議案等に反対 市民サービス低下を招く

●共生交流プラザの指定管理について

指定管理とすることで、移設されるはずの市民交流センターは縮小され、中央公民館や二村児童館の代替施設とされているが、専門職員もいない。市民サービス低下につながる指定管理と考える。

●中央公民館の廃止

公民館は社会教育推進のために設置された施設であるが、共生交流プラザでは職員も少なく、専門性はないため、本来の公民館機能は果たせない。本市の社会教育や公民館行政を考え直すべき。

●二村児童館の廃止

共生交流プラザには、児童館に必要な専門職員は配置されず、児童館としての重要な機能が欠落

している。また、他の地区との平等性からも問題。

●沓掛保育園の廃止

老朽園舎の修繕と新規保育園への補助金との金額比較がされていない。新規保育園の保育職員について、質が確保できるのか事前調査されていない。安易な民営化は認められない。

●企業誘致の奨励金支給

企業誘致は企業庁が行い、市は奨励金を出すのみだが、市として雇用面や環境面などの政策目的を明確にし、達成に応じて支給すべき。

●83号補正予算

エレベーター更新の費用が高く、もっと厳しく見積もれば他に予算をまわすことができる点など、容認できない予算がある。

討



◆未来クラブ◆

共生交流プラザ指定管理者は(株)トヨタ
エンタプライズ
柿ノ木工業団地進出企業への奨励金など賛成

▼共生交流プラザの指定管理者を株式会社トヨタエンタプライズとする議案について賛成。トヨタエンタプライズは他自治体の指定管理、中でも複合施設に積極的に進出しており、管理運営体制、にぎわいの創出のノウハウなど、総合力・サービース力で申し分ない事業者を選定したと評価する。

▼豊明市企業立地促進条例の一部改正について賛成。本議案は柿ノ木工業団地へ進出する企業に対し固定資産税3年分相当の奨励金を講じるもの。奨励金の額は他の工業団地の優遇施策と比べ、ほぼ平均的であるが、あくセスのよさなどを考えた場合、費用対効果の点から見て妥当と考える。

▼一般会計補正予算(第10号)について賛成。公共施設管理事業約1億8千万円。主な内訳は、小中学校屋内運動場手すり工事、保育園転落防止柵の設置、保育園砂場パーゴラ更新工事は園児、児童等を守る工事。エレベーター更新工事は身体の不自由な児童に対応する工事。小学校教室転用改修工事(三崎、栄、二村台小学校)は国に先駆けて導入した35人学級に対応する工事であり評価する。債務負担行為の包括的就労推進事業約1927万円は平成30年から取り組んでいるひきこもり対策として就労支援を追加するもの。ひきこもり対策を深度化させた事業であり評価する。

◆真明◆

議案第83号
豊明市一般会計補正予算(第10号)に賛成

●共生交流プラザの指定管理者は、各地で実績のある会社が指定され、よリスムーズな市民活動の推進が見込め、子育ての拠点ともなります。新たな「学び・遊び」のステージに大いに期待。

●介護施設補助・包括的就労支援は、社会的孤立を防ぎ、地域の開拓を進めながら重層的支援を行い、本市の掲げる「誰一人取り残さない」との強い決意を感じる内容。

●学校や保育施設等改修工事では、管理不備による事故等を未然に防ぐ工事に取り組んでください。

●来年度から全小学校で35人学級が始まります。本市は国や県に先駆けて実施する予定で、教員の配置や備品等で費用はか

さみですが、未来を担う子どもたちのために今後力も注いでください。引き続き、きめ細かい教育とさらなる充実に期待。

●エレベーター更新工事は、全撤去から新たに取付けるには費用も多くなりませんが、必要な工事です。階段を上れない児童のためにも、早期工事と他校の点検も要望。

●心身障害者福祉費は、今年度の当初予算額は前年度より2億円強の額が計上されましたが、利用者の増加に対応するためさらに増額計上。利用者へのサービス低下にならぬよう配慮されています。

●3回目のワクチン接種は、2回接種までの実績を踏まえ、予約券の分散配送等を高く評価。

◆公明党◆

議案第83号

一般会計補正予算（第10号）について賛成

今回の補正予算の主な歳出事業は、新型コロナウイルス感染症予防接種事業、心身障害児者扶助事業などです。

各扶助費、福祉医療助成費等は、利用者の方が増加しているとのことで、この支援は利用する方にとって最後の砦になるものと理解いたします。

コロナワクチン3回目接種分の関連事業は、前回の接種を検証されて、接種がスムーズに行えるようなことは取り入れてください。

児童生徒用のデジタルドリルは、授業に取り入れることにより学習理解が進むことを期待します。教育振興事業の振替財源は、毎年市内企業様から、児童生徒の教育向上のためにご寄附いただいたも

ので、感謝申し上げます。

共生交流プラザに係る指定管理者の指定は、民間事業者の持つノウハウ、アイデアを活かした手法を導入されて、本市のにぎわい創出につながり、利用者の方が安心して継続して通える施設になるよう期待いたします。

包括的就労推進事業はひきこもりの方、コロナ禍で失業した方などへの支援に結びつくもので、事業の性質から成果に出た数字だけが本当の実績に結びついてくるものではないと理解いたします。必要な方に寄り添い安心して利用できる事業者を選定をお願いいたします。いずれも市民の皆様が安心して安全のため必要な予算と理解いたします。

◆日本共産党◆

豊明市立保育所設置条例の一部改正に反対 一般会計補正予算第10号と第11号に賛成

議案第77号によって廃止が提案されている沓掛保育園は老朽化が進んでいるから、堅牢で暖房・冷房・トイレ等が整備された快適な園舎、送り迎えの保護者と園児の交通の安全等が保たれた敷地

にすることが必要。現在の場所に園を再建することは難しいと思うが、自治体の保育事業はその時々の子どもの権利を守ってきた。採算を考えなければいけない民間の事業者に切り替えてゆくべき

ではないと考える。沓掛地域で公立園に入所することが大変難しくなる地域の問題も含めて反対。
一般会計補正予算第10号の循環バス運行負担事業は市民の生活を支える費用、第11号の非課税世帯等への給付金は子育て世帯に限らない生活支援を求める市民の要求に相應る事業と考える。継続的支援も求め賛成。

◆たんぽぽ◆

奨励金にも工夫を！ 議案第82号企業立地促進条例の一部改正に反対

世界や国の動向や他自治体の取り組みを知り、時代の流れを的確につかみとることと同じぐらい必要なのは、市の政治判断として、他市を牽引し「豊明から流れをつくる！」への主体性を

発揮することだと考える。企業誘致の「奨励金」に対する本市の考え方は、17年前のままを踏襲しており疑問。柿ノ木地区開発の地区計画で以前、調整池や緑地面積基準について、市独自基準で上乗

せをすべき、と指摘した。「工場増加＝緑地減少」は自明の理だからこそ、気候変動の手立て①浸水被害軽減に貯留施設等の設置②工場内緑地面積をプラスα③ゼロカーボンやSDGsの視点を位置づけ推進する企業等、本市のまちづくりに合致するところに奨励金を出す姿勢が大事では。主体性をもった判断を求め反対。

◆ひまわり◆

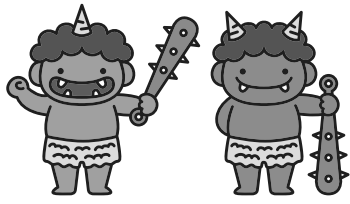
議案第76号 豊明市立公民館条例の一部改正について 共生交流プラザ開設を鑑みて 賛成

市役所に隣接する豊明市中央公民館の廃止を目的とする条例の一部改正について賛成。

そもそも公民館は、戦後の新しい日本を築き上げるため、核の1つとして設置が提唱され、地域住民が主人公となり、生活に根ざした運営が行われるべきとされましたが、社会を取り巻く状況の変化とともに、拠点施設としての役割も住民の多様化する課題に沿うもので

あることが必要になってきています。館長も現在では、指定管理者制度で運営する公民館指定管理者が採用していることを鑑みて、中央公民館の役目を新たに開設される

「共生交流プラザ」が担うことで、今まで以上に地域の実情・地域住民のニーズを踏まえた現代的課題や地域課題の解決に取り組んでいけると考え、賛成といたします。



10月緊急議会

10月29日に10月緊急議会を開催し、議案等3件を審議しました。

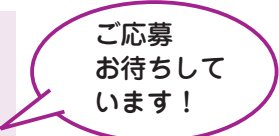
議案等の賛否

○：賛成 ×：反対

議案等番号	会派名 議員名 件名	清和					市民派の会			未来クラブ		真明		公明党		郷右近	ふじえ真理子			
		服部龍一	青木亮	鶴飼貞雄	近藤ひろひで	毛受明宏	近藤郁子	月岡修一	中村めぐみ	林ゆきひろ	ごとう学	清水義昭	宮本英彦	近藤善人	堀内ちほ			いとうひろし	三浦桂司	近藤千鶴
議案67	工事請負契約の変更（国庫補助事業（仮称）多世代交流館整備工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案68	令和3年度豊明市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	議	議	×	×
修正議案1	議案第68号 令和3年度豊明市一般会計補正予算（第8号）に対する修正案	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	

豊明市内在住・在学・在勤の方から、表紙を飾る写真・絵画・イラストを募集します。

宛先：〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1
豊明市議会 議会だより編集委員会
メール：gikai@city.toyoake.lg.jp



氏名・住所・電話番号・作品のタイトル、写真の場合は撮影場所・日時を明記の上、お送りください。
作品は直接お持ちいただくか、郵送またはメールでお送りください。メールの容量は5MBまでです。現物の場合、返却のための発送はいたしませんので、掲載日から2カ月以内に引き取りにお越しく下さい。以降は処分させていただきます。
ご自身が撮影、制作された、他の場で受賞していない作品に限ります。顔がはっきり分かる人物が写っている場合は本人(未成年者の場合は親権者)の許可を得ておいてください。
季節感のある作品の場合、掲載時期をご配慮ください。5月1日発行分の締切は3月4日（金）です。
※詳しくは豊明市議会のホームページをご覧ください。



一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について18名の議員が質問に立ちました。
その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。
詳しくは各議員の欄にあるQRコードから動画をご覧ください。



いとう ひろし 議員

「出会い・出産・結婚支援と少子化対策」 について



<質問の趣旨>

若い世代の定住には、出会いの場から結婚、出産に至るまでの行政の切れ目のない支援が必要と感じます。結婚新生活支援事業の取り組み、地域少子化対策重点推進交付金の活用について質問しました。

<答弁>

結婚新生活支援事業は実施していませんが、様々な交付金や補助金を活用して子育て支援事業を展開しています。地域少子化対策重点推進交付金の活用は、地域特性を見極めつつ、優良事例の研究を進めたい。

<コメント>

少子化対策として出会い・結婚から支援することが増子化へつながると考え、国の交付金を活用して進めてほしい。道路脇の草刈りや路面清掃車の運用についても質問しました。



ふじえ 真理子 議員

地球温暖化に歯止めを！基礎自治体でできることは Part 2 ～再エネ、省エネ、緑化への取り組みについて～



<質問の趣旨>

再エネ・省エネ推進、脱ごみ焼却、緑化推進、航空バイオジェット燃料の原料になる廃食用油の新たな回収システム等、新たな産業を生み出しながらトータルで構想を練り上げ、国の「脱炭素先行地域」に手を挙げてはどうか。

<答弁>

ごみ減量20%への取り組み、堆肥化容器の購入補助、地球温暖化対策の補助内容の見直しや緑化木の配布など、市民の皆様にご理解いただける状態で、やれることをやっていく。提案として伺っておく。

<コメント>

ごみ20%減量は《千里の道も一歩から》の“一歩”に過ぎない。具体策に乏しく温暖化への危機感が薄い。後ろ向き姿勢（市政）は問題。本質をとらえ、行政は率先垂範を！



服部 龍一 議員

三崎水辺公園の改修工事について



<質問の趣旨>

多くの方がウォーキング、ラジオ体操、太極拳など利用されている公園であり、桜の時期には、花見の名所でもある。住民の方々からも様々要望を聞いているので、来年度以降の改修工事の内容について質問をした。

<答弁>

この公園の遊歩道は池を見ながら周回ができ、多くの市民に利用されている。ひび割れの対応、駐車場の拡充、歩車道の分離、浮き橋の老朽化の対応、トイレを和式から洋式に変更等、今後検討していく。

<コメント>

遊歩道のひび割れ、浮き橋、遊具等老朽化している部分の改修、駐車場の歩車道の分離等の拡充は、必須であると思い質問した。市民の安全と快適に向けて前向きな回答を得た。



ごとう 学 議員

今後の下水道整備は、合併浄化槽に切り替えよ。



<質問の趣旨>

経営戦略では、今後、調整区域で約160haの公共下水道を整備。50億円以上の事業になる。合併浄化槽なら調整区域すべて全額市費で整備しても22億円で済む。合併浄化槽に変えていったほうがいいのでは。

<答弁>

(部長) 現実を考えると見直しは大事。十分に検討する余地はあるかと思う。

(市長) 数年前から合併浄化槽に切り替えることについて庁舎内で協議を続けている。住民とも協議し意思決定していきたい。

<コメント>

合併浄化槽は公共下水道に比べそん色ない浄化機能があり、かつ、経済性で勝る。莫大な費用がかかる従来の下水道計画をすぐ見直すべきだ。国も県も認めると言っている。



近藤 善人 議員

包括的性教育について



<質問の趣旨>

学習指導要領の小学5年生の理科では、受精に至る過程は取り扱わない、中学1年生の保健体育では妊娠の過程は取り扱わない等、性交について取り扱わないと書かれているが、一歩進んだ包括的性教育を進める考えは。

<答弁>

望まない妊娠だとか不幸な結果を防いでいくには性教育をしていかなければいけない。

『いのちの教育』というカリキュラムがある。その指導計画を使いながら発達段階に合わせた指導ができるようにしていきたい。

<コメント>

欧州の国々に比べ、日本の性教育は非常に遅れています。望まない妊娠など、性の加害者・被害者にならないためにも、包括的性教育(避妊など)を進めなければなりません。



青木 亮 議員

所有者不明土地の実態と今後の対策について



<質問の趣旨>

近年、相続登記がされないことなどにより、所有者不明土地が増加する中、本市のその実態と今後、市民への相続登記義務の周知や所有者不明土地の利活用をどのようにするのか本市の考えについて質問する。

<答弁>

所有者所在不明土地は、令和2年度1件。今後、死亡届時に相続登記案内等を掲載する方向で検討する。また、所有者不明土地の利活用は市としては今のところ考えはないが、当該土地利用事業者があれば援助する。

<コメント>

空き地や所有者不明土地が管理不全となれば、景観を損ねるだけでなく、衛生、防火、犯罪等の観点からも、土地所有者はその土地を「管理」する責務があります。



近藤 千鶴 議員

HPVワクチン積極的勧奨再開について



<質問の趣旨>

国は、令和2年10月、令和3年1月にHPVワクチンの定期接種の対応及び対象者への周知について通知を発出し、市町村にHPV定期接種対象者への情報提供の徹底を求めた。それに対する本市の対応と今後の予定は。

<答弁>

令和4年度より積極的勧奨が再開されることが決定。定期接種者、また、定期接種年齢以外の対象者の接種費用等について当初予算で計上していく予定。不安なく接種できるような体制を整えていきたい。

<コメント>

他にGIGAスクール構想の推進についても質問しました。今後、家庭に学習用端末を持ち帰るときのルール作りはとても重要です。早急にルール作りの検討をお願いします。



三浦 桂司 議員

障がい者の支援について



<質問の趣旨>

国は社会福祉法の改正で、重層的支援整備事業を創設した。軽度障がいや重度障がいを持つ人への支援、特別障害者手当の周知、重層的支援体制整備事業について、今後の豊明市の対応を伺いたい。

<答弁>

豊明市では障害者手帳を持つ人が約3,400人いる。軽度障がいは社協が、重度障がいは社会福祉法人がグループホームを開設予定。特別障害者手当は漏れのないように案内して地域の特性に合った共生社会を築いていく。

<コメント>

他に阿野川の汚水対策では、過去にも油が流れてきたことがあり、通報があればすぐに現場の確認に行く。木造住宅耐震ローラー作戦は、令和4年度は沓掛町荒井で行うとの回答。



林 ゆきひろ 議員

職員の育成とキャリア形成について



<質問の趣旨>

市職員の休職や若い世代の退職、頻繁な人事異動も見られるため、モチベーション高く、能力を発揮できる職場環境づくりを目指して「人材育成基本方針」にもふれながら、研修制度や人事異動について質問した。

<答弁>

こういったことに心配いただけるのは非常にありがたい。現状は他の自治体と比べて休職者や離職者が多いというわけではない。時代は動いており、基本方針は5年経過しているので、ずっと維持していくつもりはない。

<コメント>

コロナ禍により働き方や意識は大きく変わった。現状と基本方針で相違が見られるので、不断の見直しを行ってほしい。また、「ひきこもり」へのサポートについても質問した。



月岡 修一 議員

市道前後31号の拡幅を求めて



<質問の趣旨>

市道前後31号は長年拡幅がされず、自然災害や火災が発生した場合、大型消防車両等の救助活動に支障を来す。まずは坂部公民館前から市道前後31号につながる私道に接続できるように工事を進めていただきたい。

<答弁>

難しい事案だが、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら少しでも道路の接続に向けて進めていきたい。市所有の土地が民地内に存在している場所は、隣接土地所有者と交渉を行って不具合の解消を図りたい。

<コメント>

昨今は自然災害を含めて、いつ何が起こるか想像できません。しかし行政として滑地域に住む人々の生命と財産を守らなくてはなりません。早期に取り組んでいただきたい。



鵜飼 貞雄 議員

子どもたちを交通事故などから守るために



<質問の趣旨>

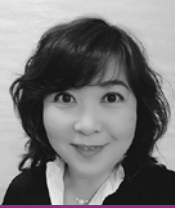
通学路をはじめ道路構造上、安全対策ができない箇所が複数あります。ハード面に対応できない部分は、交通安全教育などのソフト面でカバーするべきと考え、その交通安全教育の取り組みの確認や新たな提案をしました。

<答弁>

今回指摘をいただいた、危険を理解することや知識、疑似体験は重要と認識しています。愛知警察署と共に協議し、様々な機会を捉え、交通安全教室が実施できるよう努力していきたいと考えます。

<コメント>

危険な箇所はボランティアの方々が見守りをしていただき、安心して通学できています。道路には危険が潜んでいることを多くの方々に知ってもらう機会を増やしてほしいです。



堀内 ちほ 議員

認知症の方の居場所について



<質問の趣旨>

認知症かもしれない症状の方の中には、自宅で引きこもり生活をされている方もいます。地域のカフェなどの出先で、認知症サポーターの皆さんと協力し、豊明市独自の「認知症の方の居場所」作りを提案したい。

<答弁>

「認知症カフェ」は、医療や介護の専門職の相談体制が必要だが、「認知症の方も含めた集いの場」には制約はない。その中に認知症サポーターの参加があれば、情報交換等もでき、貴重な集いの場が形成できると考える。

<コメント>

認知症は7人に1人が発症する身近な病です。困りごとは「地域包括支援センター」へ相談を。決して家族だけで問題を抱え、苦しまず、助けを求めることが大切と思います。



清水 義昭 議員

高齢者が健康で生きがいを持ち続けるために



<質問の趣旨>

外出して体を動かすことや人との接触を持つことは心身の健康維持のために重要であるが、コロナ禍においてその機会は激減した。それらにまつわる高齢者向け施策について、現状の取り組みと課題についての見解は。

<答弁>

取り組みとしては、まちかど運動教室、らくらす、各種サロン等がある。課題としては、参加者に偏りがあることや、男性の参加が少ないこと、地域によっては事業が提供できないことなどがある。

<コメント>

団塊の世代が後期高齢者となる時期を迎えている。地域活動において、参加者の偏りが少ないイベントや男性が活き活きとする活動などヒントがある。ぜひとも研究してほしい。



近藤 ひろひで 議員

本市における市民活動の実状について



<質問の趣旨>

「豊明市協働のまちづくりをすすめる地域社会活動推進条例」は制定から10年経過しました。今後、「市民の皆様による市民生活を支える地域活動」に対し、どう寄り添ってどのように支援していきますか。

<答弁>

各分野で意思を持って活動してみえる市民の方々の考えを尊重しつつ、活動に必要なものや情報を提供していきます。また、シニア世代・退職者世代の市民の方々の参加が活発になってきています。

<コメント>

担当課では現在もきめ細かくフォローしていただいていると思います。今後も、市民・団体で活動していただいている皆様に、現場で寄り添って支援していただきたい。



郷右近 修 議員

住環境を守る整備を



<質問の趣旨>

桜ヶ丘脊掛線はトンネルの開通によって国道23号方面への交通量が増えていると感じる。速度をさらに規制したり、大型車の規制や遮音壁を設置したりして、騒音・排気ガスから住環境を守れないか。

<答弁>

桜ヶ丘脊掛線は国道23号、県道名古屋岡崎線に接続し、大きなストック効果をもたらすので大型車の規制や時速30kmの規制は考えていない。騒音防止の遮音壁には十分な延長が必要になるので設置には至っていない。

<コメント>

騒音や排気ガスの原因となる車両の交通量がどのくらい増えているかで、住環境の悪化を掴むことはできると思う。まず、定期的な交通量の調査を行ってほしい。



近藤 郁子 議員

(唐竹小学校跡地の) 共生交流プラザ開設を前にボランティア活動に期待すること



<質問の趣旨>

共生交流プラザが市民でにぎわうためには市民の力が必要不可欠。ボランティア活動をはじめ、市民のどのような協力を得て、プラザを通じてどのようなまちづくりを目指しているのか、市の考えを伺います。

<答弁>

市で枠組みを決めてしまうとその枠組みの中でしか成長しない。既に市民団体から相当の期待や提案が寄せられている。あらゆる資源がここに集まり、これまで居場所がなかった人たちの居場所になってほしい。

<コメント>

何らかの形でその場所に関わると愛着が湧くもの。団体だけでなく、個人でも何かに参加していただく機会を作って、プラザへの愛着が市民共通のものになるようお願いしたい。



宮本 英彦 議員

働く女性にとって、現在の子宮がんの検診機関は限られているため、受診したくても受診できない女性がたくさんいると思います。



<質問の趣旨>

子宮がん検診の提携産婦人科は1つしかなく選択の余地がない。近隣自治体の産婦人科、市内の健診専門機関、保健センターの健診バスの土曜健診日を増やすなど選択肢の拡大はできないか。

<答弁>

地域医療を担っている地元医師会を契約先としている。近隣自治体の医療機関での実施は引き続き協議する。集団健診の健診日拡大は複数の自治体との調整が必要であり優先的に実施できるよう関係機関と協議する。

<コメント>

今回は市民から寄せられた声3件、その他小学生の温水プール水泳授業後の髪を乾かす時間とドライヤーの件、女性の会・豊老連・豊子連の補助金の公平性の件を取り上げた。



中村 めぐみ 議員

子育てアプリの機能強化について



<質問の趣旨>

アプリが開始して1年。手軽に情報の検索や予約ができるようになると期待があったが、現状そこまで至っていないと感じる。利用している方々の意見も併せて、さらなる利便性について質問する。

<答弁>

これから改良をしていくべきところのほうが多いと考えている。担当課の作戦会議のなかで議論を進めていて、拡充していきたいと思っているが、もうしばらく時間を頂戴したい。

<コメント>

アプリの登録者を増やすことも大切だが、使用してもらって役立つもの。利用者の方々から、アンケートや意見を聞き、利用者目線で良いものをつくっていただきたい。

一般質問のレイアウトを変更しました

現在、市議会では、よりわかりやすい議会だよりを目指して、リニューアルに向けた様々な協議を行っています。その一環として、今回から一般質問のレイアウトを変更しました。議員の質問のねらい、それに対する答弁の肝となる部分を読みやすくまとめ、一般質問を通しての議員の所感などをコメント欄に掲載しています。

各議員の表題の横にあるQRコードを読み取ると、YouTubeの録画放映を視聴できます。気になる一般質問がありましたら、ぜひYouTubeをご覧ください。

10月		11月		12月		1月	
22日	全員協議会	4日	豊明市議会議員政治倫理審査会	10日	議会だより編集委員会	17日	議会だより編集委員会
25日	正副委員長会	8日	正副委員長会	21日	議会運営委員会	11日	議会だより編集委員会
29日	議会運営委員会	12日	議会運営委員会	23日	愛知県競馬組合議会定例会	11日	議会だより編集委員会
30日	10月緊急議会	15日	正副委員長会	27日	愛知中部水道企業団議会定例会	17日	議会だより編集委員会
30日	議会	18日	豊明市議会議員政治倫理審査会				
27日	議会報告会	19日	豊ヶ岡学園との親善交流会				
24日	議会運営委員会	22日	全員協議会				
30日	12月22日 12月定例会	22日	会派会議				
30日	会派会議	24日	正副委員長会				
	尾三消防組合議会定例会		議会運営委員会				



豊ヶ岡学園との親善交流会

令和3年11月19日

11月19日、市内にある豊ヶ岡学園と豊明市議会の親善交流会を開催しました。議会では毎年、交流会を行ってきましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のために開催できず、2年ぶりの開催となりました。

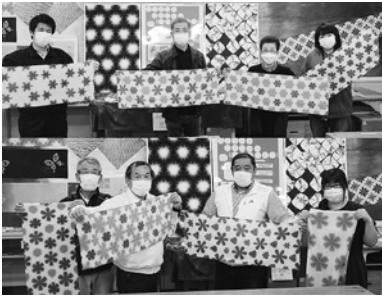
豊ヶ岡学園は、短期義務教育課程及び短期社会適応課程に対応し、比較的短期間で改善更生が可能と判断された少年が入所されている施設です。園生さんたちは、ここで学習指導や職業訓練を受け、社会復帰を目指されています。

現在、豊明市ではふるさと納税の返礼品の1つに、豊ヶ岡学園の園生さんが製作した焼き物や絞り染めのセツトを設けています。少年院での返礼品作りは、全国でも初の取り組みです。

今回、交流会に参加した園生さんは4名と少数のため、議会からは正副

議長、1期生議員6名の計8名での参加。例年であればスポーツ交流をしていましたが、学園のご配慮により、議員8名は園生さんに指導をしていただきながら、手拭い作りと陶芸の釉薬塗りを体験しました。各自が作った手拭いは、どれも個性的なオンリーワンの作品となり、記念品として頂きました。その後の意見交換会では、園生さんから行政に関する活発な質問を受けました。

丁寧に指導をしてくださった園生さんに感謝するとともに、今後の社会復帰についても期待と応援をしたいと思えます。



豊明市議会議員政治倫理審査会

豊明市議会は令和2年

12月22日、豊明市議会議員政治倫理条例を制定しました。令和3年4月26日、この条例に基づき、近藤郁子議員に対して市民から、「議員としての品位を損なうとともに、市民全体の奉仕者として信頼に欠ける行為があり、政治倫理に反する疑いがある」とする審査請求がありましたので、豊明市議会議員政治倫理審査会を設置し、審査を行いました。その審査が11月18日に終了しましたので、報告いたします。

(以下、豊明市議会HP審査結果の概要より抜粋)

▼審査結果

条例第9条第1項に規定する審査請求に適さない。

▼審査の経過

・委員長・副委員長を互選し、委員長 宮本英彦議員、副委員長 ふじえ真理子議員、委員18名

(議長と被請求議員を除く)とした。

今後の進め方について協議し、効率的な審査運営を図るため、審査会へ諮るたき台をつくる小委員会の設置を決定した。

・被請求議員及び関係人から資料の提出を要請し、事実経過の調査を行なうことを決定した。

・関係人から協力は得られない旨の連絡があったことを報告した。

・被請求議員から弁明書の提出があり、弁明書の取扱い及び今後の進め方について協議した。

・これまでの審査会での意見、資料、弁明等の論点を整理し確認した。

・各委員に審査の継続に関し意見を求め、採決の結果、賛成多数により審査の終了を決定した。

・本審査請求の適否について採決した結果、賛成少数により、本審査請求は政治倫理審査会の審査に適しないと決定した。

議会報告会2021の報告

第1部 委員会報告 3常任委員会からの報告
 第2部 意見交換会 参加者からのご意見を伺います
 日 時：令和3年11月27日（土）午前10時～11時30分
 会 場：豊明市文化会館ギャラリー
 参加者：22名

今年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が危ぶまれましたが、22名の市民の皆様のご参加をいただき、開催することができました。

第1部 委員会報告 主な内容

- 総務委員会**
- ① 共生交流プラザ
 - ② 市営駐輪場の再整備
- 健康福祉委員会**
- ① 児童発達支援センター
 - ② 新型コロナウイルスワクチン接種

建設文教委員会

- ① 歴史民俗資料室リニューアル
- ② タブレット等を使った学校教育

第2部 意見交換会

総務委員会

- ◆ 指定管理は今後増えていくのか。人件費の削減はできるが、やるなら市民によく説明を。豊明の業者に仕事の確保を。
- ◆ 業者委託より先に、市

の職員の積算能力を育てないと業者の言いなりになってしまわないか。

- ◆ 設置されている防犯カメラはいくつあるのか。防犯カメラは凶悪犯罪抑止に役立つ。市民の安全のため、どのように増設していくか。
- ◆ 駐輪台数が300台減るが、整備案で全てを止められるのか。



健康福祉委員会

- ◆ ワクチン接種率は近隣に比べて高いが、行政へ働きかけて100%を目指す努力をしないのか。
- ◆ ワクチン未接種者への接種通知を、個人情報という名目で逃げてしまう。身体的な理由があるなら、きちんと調べないと接種率は上がらない。

建設文教委員会

- ◆ タブレットは全員に行き渡っているのか。自宅

に持ち帰って使えるのか。

- ◆ ITばかりの教育では、子どもたちの情操面が欠けていくのではないか。IT産業のために教育するのはため、急激ではなくゆっくりやってほしい。



その他の意見

- ◆ 政治倫理条例の件で、ある議員の会報では、不可解な事案が2件発生しているとの記載がある。倫理審査、公文書紛失等。公文書の紛失はたびたびあるのか。おかしなことがあるのと書かれているが議員はどう考えているのか。政倫審にかかった議員が説明責任を果たしていない。あなた方（議員）にとって倫理とは何か。

参加者アンケートから

Q 議会報告会への参加

- 初めて 6名
- 2回目 4名
- 3回目 2名
- 4回目 5名
- 5回目 0名
- 6回目以上 3名

Q 第1部について

- よかった 8名
- どちらとも言えない 5名
- よくなかった 0名
- その他 3名

◎寄せられた声

- ◆ 事業説明でなく、行政事業の問題点提案等を聞く会。
- ◆ もっと短時間で、トータル5〜6分程度。
- ◆ 当局の議案に対し議会が何を提案して、当初議案に盛り込んだのかの説明が足りない。
- ◆ 発生の背景等、もう少し詳しい内容がほしい。

Q 第2部について

- よかった 7名
- どちらとも言えない 6名
- よくなかった 2名

その他 1名

◎寄せられた声

◆参加市民との意見交換は重要だが、テーマを限定しないほうがよい。

◆当局議案の受け流しに過ぎない。

◆テーマを絞ることはよかった。

◆質問内容を決め、他の質問は終了後、個別にしてくださいと言われた。理解できない。わざわざ来た意味がなかった。

◆質問だけになって、意見交換ではなかったが、いろんな意見が聞けてよかった。

自由記述欄

◆市政や議会活動を知る機会は重要です。今後とも継続して開催してほしい。参加者が少ないので議員からも声掛けてほしい。

◆議会だよりなどで知ることのできる賛否・結果より各委員会での討論内容を詳細に伝える機会にしては。

◆第2部の意見交換はよかった。

◆もう少し意見を言う時間を取るとよかった。

◆参加者が非常に少ないので、残念。幅広い層の参加を増やす工夫を願う。

◆議員の方はほとんど行政寄りである。議員個人の意見を聞きたい。

◆なかなか議会傍聴も行けなくて、報告会も毎回来られないが有意義な場だったと思う。議員も大変だと思うが、豊明ももっといいまちになるようよろしく願います。

◆たまにはフリーのテーマで開催してはどうか。

貴重なご意見をいただきました。議会として調査・研究の必要があるものは、今後、検討していきます。
議会報告会の詳細は、議会ホームページをご覧ください。

3月定例会議会の開催日程（予定）

2月24日(木) 本会議（議案上程・提案説明）

2月25日(金) 本会議（一般質問）

2月28日(月) 本会議（一般質問）

3月 1日(火) 本会議（一般質問）

3月 2日(水) 本会議（一般質問）

3月 3日(木) 本会議（一般質問）

3月 7日(月) 本会議（議案質疑・委員会付託）

3月 8日(火) 総務委員会

3月 9日(水) 健康福祉委員会

3月10日(木) 建設文教委員会

3月11日(金)・15日(火)・16日(水) 予算特別委員会

3月23日(水) 本会議（委員長報告・討論・採決）

※ 本会議・委員会とも午前10時より開かれます。
上記は予定のため、変更される場合があります。
詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121

※次回の議会だよりの発行は
5月1日です。

令和3年 議会の活動状況

●議会活動の概要

豊明市議会では平成24年に議会基本条例を制定し、通年議会を実施しています。令和3年5月14日から令和4年4月28日までの350日間は令和3年定例会の会期となっています。このほかに「議会運営委員会」や「全員協議会」なども随時開きました。

また、令和3年1月1日から12月31日までに議会で審議した議案は、市長提出案件が98件、議員提出案件が6件であり、提出された請願が2件、陳情が3件でした。

1. 本会議開催状況

会議名	議会期間	日数	本会議日数	傍聴者数
1月緊急議会	1月19日	1日	1日	0人
3月定例会議会	2月24日～3月24日	29日	7日	27人
開会議会	5月14日	1日	1日	0人
6月定例会議会	6月3日～6月24日	22日	6日	12人
9月定例会議会	8月26日～9月22日	28日	6日	18人
10月緊急議会	10月29日	1日	1日	5人
12月定例会議会	11月30日～12月22日	23日	6日	38人
合計		105日	28日	100人

2. 委員会等開催状況

委員会名	開催数
常任委員会	37回
特別委員会	7回
議会運営委員会	22回
全員協議会	12回
会派会議	13回
常任・特別委員会 行政視察	0日
その他の会議	54回

3. 議決状況

市長提案		
地方自治法 第96条関係 (15号を除く)	条例	36件
	予算	34件
	決算	10件
	その他	10件
専決承認案件		0件
その他（人事案件等）		8件
合計		98件
議決状況	可決	88件
	修正可決	0件
	否決	0件
	認定・同意等	10件
	撤回承認	0件
	継続審査	0件

議員提案		
条例		0件
規則		1件
修正議案		1件
意見書		2件
決議		2件
その他 (動議)		0件
合計		6件
議決 状況	可決	5件
	否決	1件